

カルボプラチン+ペトレキセド+ペムブロリズマブ療法を受けられる患者さんへ

	入院日	投与日	入院3日目～入院7日目	入院8日目～入院20日目	退院日
目標	治療の必要性、スケジュール、合併症や副作用を理解できる 	体温・脈拍・血圧が安定している 副作用が理解できる 治療に伴う症状に気づくことができ、知らせることができる 点滴のところに赤み・腫れ・痛みがない	体温・脈拍・血圧が安定している 副作用が理解できる 治療に伴う症状に気づくことができ、知らせることができる		退院後の生活について分からないことがあれば聞くことができる
治療処置		全身状態を観察するため、点滴中は心電図モニターを装着します		副作用症状に対して必要時治療を行います	
点滴		点滴をします (4時間以内に点滴が終わります) 			
内服薬	持参された内服薬は一旦看護師が預かります 内服薬は、医師に確認します		通常通り、内服薬を飲んで下さい 		
検査	身長・体重を測定します 採血・採尿・レントゲン・心電図の検査があります		身体の状態に応じて検査を行っていきます		
安静度	制限はありません	点滴中は、なるべく安静にしてください		制限はありません	
食事		制限はありません 食欲がない時は食事の内容を変えることができます。ご相談ください 			
清潔		点滴前か後に、シャワー浴や体を拭くことができます 		状態に応じて、清拭やシャワー浴ができます 入院中、できる限りシャワー浴をし身体を清潔に保ちましょう 	
排泄		抗癌剤治療により、排便障害(便秘や下痢)になることがあります 便の回数や硬さ、色、量を教えてください			
説明	<ul style="list-style-type: none"> * ご本人確認できるようにリストバンドをつけていただきます * 入院生活のパンフレットに沿って説明、病棟案内を行います * 入院診療計画書の説明を行います 署名をして看護師にお渡し下さい * 医師から点滴の説明を行い、同意書を頂きます。「抗がん剤治療を受ける患者さんとご家族の方、抗がん剤治療当日の説明用紙」のパンフレット【特に、排泄の注意点(P.4)】をよく読み分からないところがあればお聞き下さい 	<ul style="list-style-type: none"> * 抗癌剤投与中、皮膚の症状(かゆみ、蕁麻疹)、息苦しさなど症状が生じやすいです。症状出現の際は、すぐにナースコールを押してください * カルボプラチンは血管外へ漏れ出た場合、炎症が起こしやすい薬剤です 点滴中に違和感が生じたら申し出て下さい ・点滴中に針が入っているところの発赤 ・点滴が入っているところの痛み(ピリピリした感じ) ・点滴の針が入っているところの腫れ(違和感) * 投与日～投与後4日目の起こりやすい副作用として食欲不振・身体のだるさ・吐き気等があります。転倒に注意しましょう  	<ul style="list-style-type: none"> * 副作用症状は個人差があります 症状が出現した場合には早めに看護師に相談してください * 投与後5日目～投与後3週間頃の起こりやすい副作用として吐き気・身体のだるさ・口内炎などがあります。めまい・ふらつきなど起こる事があるので、転倒に注意しましょう * 骨髄抑制(免疫力低下・貧血・出血)は投与1週間目から2週間程度みられます。病室から出るときは、マスクの着用、行動前後には手洗い・うがいをしましょう  	<ul style="list-style-type: none"> * 次回の来院日時を確認してください * 外出の際は、マスクの着用、行動前後には手洗い・うがいをしましょう 	